



# Cisco Unified Personal Communicator を使用した 通信履歴の操作

---

- [通信履歴、9-2 ページ](#)
- [\[通信履歴\] リストの操作、9-3 ページ](#)
- [\[通信履歴\] リストの操作、9-3 ページ](#)
- [ボイスメールへのアクセス、9-5 ページ](#)

## 通信履歴

[通信履歴] ウィンドウには受信するすべてのボイスメールメッセージと、最大 50 件の着信、発信、または不在コールが一覧表示されます。

**デスクの電話**を使用して発信または応答したコールは、Cisco Unified Personal Communicator が稼働している場合にだけ、[通信履歴] のリストに表示されます。発信したコールは、**電話モード**がデスクの電話に設定されている場合にのみ表示されます。ボイスメールは常に表示されます。新しいボイスメールは、録音後 1 分以内にリストに表示されます。

別のコンピュータからログインすると、そのコンピュータにログインしている間に発信および受信したコールだけが、そのコンピュータの通信履歴リストに表示されます。ボイスメールは常に表示されます。

通信の種類ごとにフィルタを実行したりすべてを表示したりできます。アイコンやテキストの上にポインタを移動しても、通信の種類が表示されます。次のような他の視覚的なインジケータは、各通信の状態を判断するのに役立ちます。

- イタリック表示のアイテムは処理中のアイテムで、しばらくすると利用可能になります。
- 未読のボイスメール アイテムは**太字**で表示されます。
- 削除されたアイテムのうち、まだ除去されていないアイテムは、削除されたアイテムのリストに取り消し線の付いたテキストで表示されます。



(注)

---

ソフトフォン モードを使用していて、デスクの電話でコールに応答する場合、コールは不在コールとして通信履歴に表示される場合があります。

---

### 関連トピック

- [\[通信履歴\] ウィンドウに関する問題の解決方法、10-31 ページ](#)

## [通信履歴] リストの操作

### 手順

手順	方法
アイテムの通信の種類を確認する	[通信履歴] ウィンドウの最初のカラムにあるアイコンにポインタを移動して、テキストを表示します。
新規の不在コールまたはボイスメールの数を表示する	[通信履歴] ウィンドウの上部にあるアイコンでは、電話番号が表示されます。  ボイスメールを再生したかどうかにかかわらず、「未読」アイテムを開くたびにカウントが調整されます。未読アイテムが存在しない場合、その種類のカウンタは表示されません。  会社によっては、これらのインジケータに数字を表示しないように設定されている場合があります。アイコンが表示されている場合は、その種類の新規アイテムが少なくとも1つ存在することを示しています。
通信の種類ごとにフィルタする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [表示] &gt; [通信履歴のフィルタの変更] の順にクリックします。</li> <li>2. オプションを選択します。</li> </ol>
リストをソートする	ソートするカラム ヘッダーをクリックします。  もう一度クリックすると、逆順にソートされます。
カラムのサイズをテキストのサイズに合わせて即座に変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カラム内のアイテムを右クリックしてサイズを変更します。</li> <li>2. [ベストフィット] を選択します。</li> </ol>
名前にジャンプする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスト内の任意の名前をクリックします。</li> <li>2. 名前の最初の文字を入力します。</li> </ol>

## ■ [通信履歴] リストの操作

手順	方法
アイテムの詳細を表示する	[通信履歴] のリストのアイテムを右クリックして、[通信を開く] または [ボイスメールを開く] を選択します。
アイテムを既読または未読にする	1 つ以上のアイテムを選択した後、右クリックして [既読にする] または [未読にする] を選択します。
アイテムを削除する	アイテムを右クリックして、[コール履歴の削除] または [ボイスメールの削除] を選択します。
アイテムの削除を取り消す	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>コンソール</b> 上部のメニュー バーで、 [表示] &gt; [通信履歴のフィルタの変更] &gt; [削除] の順に選択します。</li> <li>2. 削除のマークを付けたアイテムを右クリックして、[コール履歴の削除の取り消し] を選択します。</li> </ol> <p>すでに除去されたアイテムの削除は取り消せません。</p>
マークが付けられたアイテムをすべて除去して削除する	[通信履歴] ウィンドウで右クリックして、[削除した通信の除去] を選択します。

## 関連トピック

- [ボイスメールへのアクセス、9-5 ページ](#)
- [\[通信履歴\] ウィンドウに関する問題の解決方法、10-31 ページ](#)

## ボイスメールへのアクセス

ユーザの会社でこの機能が有効になっている場合は、Cisco Unified Personal Communicator でボイスメール メッセージの受信と再生が可能です。



(注)

削除したボイスメール メッセージを定期的に除去しないと、Cisco Unified Personal Communicator の起動やボイスメールへのアクセスにかかる時間が長くなる場合があります。通信履歴アイテムを完全に削除する方法については、[\[通信履歴\] リストの操作、9-3 ページ](#)を参照してください。

### 手順

手順	方法
ボイスメール メッセージのリストを表示する	[表示] > [通信履歴のフィルタの変更] > [ボイスメール] の順に選択します。
ボイスメールを再生する	[通信履歴] リストにあるボイスメール アイテムを右クリックして、[ボイスメールの再生] を選択します。
ボイスメールの再生を制御する <ul style="list-style-type: none"> <li>• (最初まで) 巻き戻し</li> <li>• 最初から再生</li> <li>• 再生</li> <li>• 一時停止</li> <li>• 早送り</li> <li>• シーク (メッセージの特定の位置まで巻き戻し)</li> <li>• 再生音量の変更</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [通信履歴] リストのボイスメール アイテムをダブルクリックします。</li> <li>2. 適切なボタンをクリックするか、適切なスライダを動かします。 大きい方のスライダがシーク用のスライダです。</li> </ol>
削除したボイスメールを復元する (電話機と Cisco Unified Personal Communicator のどちらから削除したかには関係ありません)	<p>通信履歴アイテムの削除を取り消す方法を参照してください。</p> <p>削除したボイスメールを完全に除去すると、そのボイスメールは復元できなくなります。</p>

**関連トピック**

- [ボイスメールの設定、1-6 ページ](#)
- [通信履歴、9-2 ページ](#)
- [\[通信履歴\] リストの操作、9-3 ページ](#)
- [ボイスメールに関する問題の解決方法、10-32 ページ](#)